
プレスリリース

ロンドン、2023年9月6日 05:00

自動車および工業需要成長が堅調に伸びる一方で供給は横ばいとなり、2023年のプラチナ不足予想は100万オンス超

- 総需要は2023年に27%増加するが、総供給は横ばいの見込み
- 自動車生産が回復するなかで、自動車生産台数、代替、搭載が予想以上に増加し、2023年の需要は13%増（12トン増）
- 生産能力の拡大により、2023年の工業需要は、過去最高の83トンの予想
- 2023年第2四半期のETF需要は旺盛、2023年の投資総額は12トンの予想

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は本日、2023年第2四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2023年の通年予想を修正しました。

世界のプラチナ需要は3四半期連続で増加し、2023年第2四半期は前年同期比31%増（16トン増）となりました。自動車需要（同19%増、4トン増）および工業需要（同12%増、2トン増）が好調で、投資需要も引き続き堅調でした。一方、プラチナ精錬生産量は同4%減（2トン減）、自動車触媒のリサイクルは同13%減（1トン減）、宝飾品のリサイクルは同9%減（0.3トン減）でした。このため、2023年第2四半期のプラチナ需給は11トンの不足となり、2020年下期以降で初めて2四半期連続で不足しました。

これらの事象は2022年第1四半期から続くもので、これは2023年通年の不足予想を再び上方修正する原因となりました。通年予想は絶対量でも、年間需要との対比でも、過去最大の31トンとなっています。総供給量は横ばいで、低調だった2022年の225トン（1トン減）並みになると予想される一方、需要は27%増の256トン（54トン増）に大幅に増加すると予想されています。

プラチナの自動車需要成長の既存要因に加え、自動車生産台数が四半期ベースで大幅増加半導体不足の緩和が続き、自動車生産が堅調に増加したことから、2023年第2四半期のプラチナの自動車需要は、前年同期比19%増（4トン増）の26トンとなりました。世界の小型車（LDV）生産台数は前年同期比14%増、大型車（HDV）生産台数は同18%増加しました。

2023年通年の自動車プラチナ需要は、LDVとHDVの生産台数がそれぞれ6%および7%増加すると予想され、パラジウムからプラチナへの代替の継続、プラチナ族金属（PGM）の搭載量の増加などが牽引しています。HDVに対する中国の排ガス規制が強化され（2023年7月1日発効）、PGMコーティングを施したパーティキュレート・フィルター・システムが段階的に導入されるため、プラチナ需要が増加する見込みです。これらの要因によって、2023年の世界のプラチナの自動車需要は13%増（12トン増）の102トンになるとみられます。

2023年の工業需要予測を上方修正

2023年第2四半期の工業用プラチナ需要は前年同期比12%増の22トンとなり、2021年第3四半期以来の高水準となりました。特に化学分野では、パラキシレン業界からのプラチナ含有触媒の需要増が他の分野の工業用需要の縮小を相殺したため、当四半期は前年同期比87%増（3トン増）となりました。2023年全体を見ても、すでに記録的な工業需要の見通しはさらに上方修正され、83トン（前年同期比14%増、10トン増）となりました。これは、特にガラス（50%増、8トン増）および化学（12%増、3トン増）用途の生産能力拡大によるも

ので、エレクトロニクス（8%減、0.3トン減）および石油（11%減、0.7トン減）分野の需要減少を相殺するでしょう。

2023年の純投資需要予測は12トン

前四半期と同様、2023年第2四半期も投資家の関心が高まり、投資需要は5トンの純増となりました。2023年第2四半期のプラチナETF保有量は、PGM 鉱山株式を愛好する南アフリカのファンドからの関心が再び高まったため、5トン増加、四半期ベースでは2020年第3四半期以来の増加幅となり、年初来でも6トン増加しました。しかし、ETF全体の保有残高は2023年末までに軟化すると予想されます。第2四半期の世界のプラチナ地金およびコイン投資量は1トン（前年同期比64%減、1トン減）に落ち込んだものの、日本におけるプラチナへの純投資の復活に牽引され、2023年通年のプラチナ地金およびコイン投資量は前年同期比45%増（3トン増）の10トンに拡大し、3年ぶりにプラス成長に転じる見込みです。その結果、2023年の純投資需要は正味12トンとなると予想されています。

総供給量は依然として抑制

2023年第2四半期の鉱山からの精製生産量は、北米とロシアの増加が南アフリカの減少を大きく下回ったため、前年同期比4%減（2トン減）の46トンとなりました。南アフリカの供給量は3四半期連続で減少していましたが、当四半期に改善し、32トンに達しました。これは前年同期比9%減（3トン減）でしたが、主に、Eskomの計画停電による中断に加え、生産設備のメンテナンスによるものでした。2023年の鉱山プラチナ供給量は2022年（173トン）と同水準になると予想されますが、南アフリカのプラチナ供給量は継続している電力不足の影響を受けやすい状況にあります。

2023年第2四半期の世界のプラチナリサイクル量は前年同期比12%減（1トン減）の11トンとなりました。使用済み自動車触媒からの供給は前年同期比13%減（1トン減）でしたが、これは使用済み自動車の供給が予想を下回っているためです。通年のプラチナのリサイクル供給は4%減少し、50トンになると予想されています。

World Platinum Investment Councilのトレバー・レイモンドCEOは、次のようにコメントしました。「2023年に（自動車需要および工業需要の力強い伸びを含む）プラチナ需要の27%増加が予想される主な要因は、第2四半期にはっきりと確認することができ、過去2四半期の基礎の上に構築されています。こうした好環境は2023年も続くと予想されます。本日のPlatinum Quarterlyの予想だけでなく、当社の調査によると、自動車および工業需要の伸びは、2024年以降の総需要の伸びを支えています。これは、投資家に短期および長期のバリュートンインセンティブを提供するとともに、インフレの逆風や高金利がもたらす下方リスクからの保護を提供します。一方、プラチナの主要生産国である南アフリカでは電力不足が続いており、供給不足が深刻化したため、鉱山供給の下方リスクが継続しました。2023年第2四半期は、需要の伸び及び供給の制約に加え、ETFへの流入が活発となり、これらすべてがプラチナの需要と供給のギャップを拡大する要因となりました。

「不足が拡大する中、この不足を補うための地上在庫の利用可能量が減少していることに注目し、その影響を考慮することが重要です。2023年末までには、地上在庫は年間需要のわずか5ヵ月分となります。これらの在庫のほとんどは中国で保有され、世界的な不足を補うためにすぐに輸出できるものではなく、プラチナの入手可能性に対する懸念が高まっています。これに、持続的な需要の伸びと鉱山供給が依然としてリスクにさらされていることが重なり、プラチナの投資ケースをさらに魅力的なものにしています。

「同様に、プラチナと水素経済との関係も、ますますよく知られるようになっていきます。プラチナを含有する電極から生成されるグリーン水素は、エネルギーの移行過程で極めて重大な役割を果たしています。2023年の水素関連のプラチナ需要は比較的小規模ですが、逼迫した市場において重要性が高まっており、中期的には大きく飛躍すると予想され、世界の脱炭素への投資を検討する投資家にとって、プラチナがその代替選択肢となる可能性があります。

プラチナ需給バランス (トン)	2019	2020	2021	2022	2023年 予想	2022年/2021年 成長率 (%)	2023年予想/ 2022年成長 率 (%)	2022年 第2四半 期	2023年 第1四半 期	2023年 第2四半 期
供給										
製錬高	189	155	196	172	173	-12%	1%	48	37	46
南アフリカ	136	103	146	122	122	-16%	0%	35	24	32
ジンバブエ	14	14	15	15	16	-1%	5%	4	4	4
北米	11	10	8	8	9	-4%	7%	2	2	2
ロシア	22	22	20	21	21	2%	1%	5	6	6
その他	5	6	6	6	6	-3%	2%	2	1	1
生産者製品在庫にお ける増減 (+/-)	6%	-3	-3	1	1	N/A	-30%	0	1	0
鉱山からの総供給量	189	153	193	173	174	-10%	1%	48	37	46
リサイクル										
自動車触媒	66	62	65	53	50	-19%	-4%	12	12	11
自動車触媒	49	47	49	39	37	-21%	-6%	9	8	8
宝飾品	15	13	13	12	12	-12%	0%	3	3	3
工業	2	2	2	2	2	3%	2%	1	1	1
総供給量	255	215	258	226	225	-12%	0%	60	49	57
需要										
自動車	87	72	80	90	102	13%	13%	22	26	26
自動車触媒	87	72	80	90	102	13%	13%	22	26	26
ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†
宝飾品	65	57	61	59	59	-3%	0%	15	14	15
工業	70	65	79	72	83	-8%	14%	19	19	22
化学	25	20	21	21	24	2%	12%	4	8	7
石油	7	3	5	6	5	14%	-11%	1	1	1
エレクトロニクス	4	4	4	3	3	-21%	-8%	1	1	1
ガラス	7	15	23	16	24	-33%	50%	6	3	5
医療	9	8	8	9	9	3%	3%	2	2	2
その他	18	16	17	18	19	5%	4%	5	5	5
投資	38	48	-2	-20	12	N/A	N/A	-5	5	5
地金、コインの増減	8	18	10	7	10	-31%	45%	2	3	1
ETF保有高の増減	31	16	-7	-17	2	N/A	N/A	-3	1	5
取引所在庫の増減	-1	14	-4	-10	0	N/A	N/A	-4	1	-1
総需要	261	242	217	202	256	-7%	27%	51	65	68
残余量	-6	-28	40	24	-31	-41%	N/A	8	-16	-11
地上在庫	107**	79	120	143	112	20%	-22%			

出典: Metals Focus 2019 - 2023

注記:

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫 3,650 koz (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

-ENDS-

メディア関連のご要望は、Elephant Communications お問い合わせください
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記:

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プ

ラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。プラチナ金属市場の権威ある独立機関である WPIC への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル、WPIC®) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC®) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所 : World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量 (精製済みオンス) の 73%~77% は、主に鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31% から 46% の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 30% となっています (過去 5 年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 27% を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の -10% から 20% を占めています (投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く)。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助

言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。